

質問書に対する回答

(件名) 長野自動車道 一本松トンネル補強工事

No.	質問事項	回答
1	サイクルタイム表では1日の作業時間を9時間と考えられていますが、通常は9時間拘束の8時間労働です。しかし、今回の場合は、安全朝礼及び作業ヤードから規制帯への移動等を考慮した場合、1日の作業時間は7時間が妥当ではないですか。	1日の作業時間は、設計図書に示す条件書に基づき、貴社の施工計画に基づき、お考えください。
2	昼夜間連続規制時の走行車線規制帯設置工事がサイクルタイムに計上されていません。どのように考えられていますか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
3	B1工区のStep-Iの既設コンクリート舗装の切断について、標準工程では切断延長540.32mを3セットで8時間と算定されていますが、国土交通省の土木工事標準積算基準書では作業日当り標準作業量が70m/日と記載されています。この場合 $540.32\text{m} \div 70\text{m}/\text{日} \div 3\text{セット} = 2.6$ 日必要となります。施工サイクルの0.3129h/mと考えられた根拠を明示して頂きたい。	既設コンクリート舗装の切断における施工サイクルは、過去の施工実績に基づき算定しております。貴社の施工計画に基づき、工程を算出してください。
4	走行側のコンクリート舗装版切断・撤去後の既設路盤撤去(路盤掘削土砂A)が欠落しているのではないかですか。	既設路盤の撤去はインバート掘削作業まで行わない施工で想定しております。
5	設計図(116/121)の施工順序図では、土留め工の設置後に円形水路・縁石・監査廊の撤去となっています。サイクルタイムでは逆になっているがどちらが正しいですか。	施工順序図に示す作業は各ステップでの作業を示しているのであり、施工順序を記載しているものではありません。貴社の施工計画に基づき、お考えください。
6	土留め工のサイクルタイムでは施工機械の組立解体を考慮されていますか。	考慮しています。
7	覆工受け台①(SP103)の掘削と覆工受け台①(SP108)の掘削が同時作業となっています。 掘削土を現場内に仮置する計画になっているためコンクリート打設は1ヶ所毎にしか行	貴社の施工計画に基づき、お考えください。
8	追越側のインバート掘削には鉄矢板の設置は考慮されていますが。サイクルタイムでは追越側時間当たりの掘削数量(2.8m ³ /h)が走行側(2.6m ³ /h)より大きくなっています。	インバート掘削に関する施工能力は走行側、追越側共に同じです。追越側が走行側より掘削断面積が小さいため、サイクルタイムに示す工程のとおりとなります。
9	ロックボルトの施工では施工機械の搬出入を考慮されていますか。	考慮しています。
10	仮設舗装撤去(基層)(Step8)の施工機械はどのように考えていますか。	貴社の施工計画に基づき、お考えください。
11	覆工受け台及びインバートコンクリートの作業に於いて型枠の組立・解体作業が計上されません。どのように考えられていますか。	関連する作業にて計上しております。
12	Step3およびStep10のサイクルタイムに覆工切欠き工の作業が計上されません。どのように考えられていますか。	関連する作業にて計上しております。
13	標準工程には、仮設の置式H型基礎ガードレールの設置・撤去及び仮設円形水路の設置・撤去が計上されません。どのように考えられていますか。	サイクルタイムは主要な作業を示したものであり、細部については貴社の施工計画に基づき、お考えください。

14	設計図の『トンネル補強工 参考数量表総括表』のインバート掘削C-II-K-I (T1)の数量とずり処理工(T1)の数量がほぼ同じとなっています。掘削土はインバート埋戻し工A(T1)に利用するのではありませんか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
15	特記仕様書の18-4汚濁水処理の(2)に『掘削等により生じる汚濁水については、沈砂池を設置するもの』と記載されています。何処にどのような形での沈砂池の設置を考えていますか。	貴社の施工計画に基づき、お考えください。
16	一本松トンネル入り口走行側の機械整備室前(?)及び追越側の回転場での工事用車両の一時待機は可能でしょうか。	不可能です。
17	技術提案における施工条件書(4/7)において通行止めは22回を想定されているが、その回数以内であれば、中央排水工切り回し及び防護柵設置・撤去以外の作業で通行止めを実施することは可能でしょうか。	施工条件書の通行止め22回を限度として、他の作業も可能です。
18	技術提案における施工条件書(5/7)において、インバート本体、施工方式でSPI05について、インバート閉合が未了の状態で他区間への着手は不可と記載されているが、着手となる工種をご教示いただけますか。覆工切欠や受台工も着手に含まれますか。	他区間への着手が可能である作業はインバート掘削です。また、覆工切欠（覆工受け台部）や覆工受け台工は着手に含まれません。
19	技術提案における施工条件書(5/7)において、インバート本体、施工方式でSP105について、インバート閉合が未了の状態で他区間への着手は不可と記載されているが、着手時期はコンクリート打設後、養生後、埋め戻し後のいずれかご教示いただけますでしょうか。	他区間への着手が可能となる作業の時期はコンクリートの養生後です。
20	標準工程(2/11)で変状区間2(B1工区)の防護柵の設置、撤去は夜間通行止めではないでしょうか。その場合、標準工程では日曜日と金曜日になっておりますが・夜間通行止めは不可ではないでしょうか。	防護柵工の夜間通行止めで想定している作業は設計図面(33/121、91/121)に示す「土留工継手B部」に関する作業を想定しております。 令和3年6月6日(日)及び18日(金)は、当該作業の対象外であるため通行止めを想定しておりません。
21	仮設防護柵工は、(参考図)施工手順書では仮設舗装工の施工時に設置することとなっておりますが、標準工程のサイクルタイム表の作業内容に記載がありませんが、標準工程ではどの工種に含まれているかご教示ください。	No13の回答を参照ください。
22	仮設円形水路工の設置撤去は標準工程のどの工種に含まれておりますでしょうか。	No13の回答を参照ください。